

目が開かれて

(コロサイ1・9～20)

一、コロサイの教会をめぐる

9節をご覧ください。へこういうわけで、私たちもそのことを聞いた日から、絶えずあなたがたのために祈り求めています。どうか、あなたがたが、あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように。とあります。コロサイの教会に神のことばを、すなわちキリストの福音を伝えたのはパウロではなく、エパfrasだったようです。6節、7節に

へこの福音は、あなたがたが神の恵みを聞いて本当に理解したとき以来、世界中で起こっているように、あなたがたの間でも実を結び成長しています。そういうものとして、あなたがたは私たちの同労のしもべ、愛するエパfrasから福音を学びました。とあるからです。

だれかが救われて、キリストを信じる群れが起こされますと、その人たちのために祈る者がいます。コロサイの教会の場合は、パウロでした。

二、パウロの祈り

パウロは、何を祈ったのでしょうか。9節後半より12節は、パウロが祈った祈りです。9節後半です。へどうか、あ

なたがたが、あらゆる霊的な知恵と理解力によって、神のみこころについての知識に満たされますように。とあります。神のことについては、そして神が何を考えになっておられるかについては、私共には何も分かりません。神さまの側から、啓示してくださらないければ分かりません。すなわち、覆われている覆いを取り除いてくださらなければ分かりません。

続いて、10節を見てまいります。へまた、主に心さわしく歩み、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる良いわざのうち、実に喜び、神を知ることにおいて成長しますように。とあります。特に、後半のことはへ神を知ることにおいて成長しますように。に注目したいと思います。神のみこころは、私たちが主イエス・キリストを信じて救われて終わりではなく、成長することです。これは、礼拝を中心とする教会生活を続けることによって、実現します。自分で自分の成長は分からないことと思います。それでかまわないです。「こんな罪人に主は目を留められ、人生を歩ませていただいている」と受け止めるだけで十分かと思えます。

続いて、11節です。へ神の栄光の支配により、あらゆる力をもって強くされ、どんなことにも忍耐し、寛容でいられますように。とあります。強くされることです。私共を強くしてくださるの

は、聖書のことばが語るキリストの福音であり、聖霊です。がっかりして、なかなか自分の力で立ち上がられないときは、イエスさまのことを思い、聖書を読んでください。聖霊の不思議な力を経験することでありましょう。

もう一つ、12節です。へまた、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格をあなたがたに与えてくださった御父に、喜びをもって感謝をささげることができまますように。とあります。私たちに、主にある感謝はあるでしょうか。主イエス・キリストによって現れられた神を思っているなら、感謝があります。

以上は、パウロの祈りですが、なぜこのような祈りを献げ、わざわざ手紙に書いたのでしょうか。それは、教会が異端の教えから守られるためでした。

三、目が開かれて

13節、14節をご覧ください。へ御父は、私たちを暗闇の力から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。この御子にあって、私たちは、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。これも、パウロはコロサイの教会を呑み込もうとしていた異端的な教えに対して、キリスト教会の信じる信仰は、徹頭徹尾、キリストが中心なのだということを語っています。

そして、15節より20節です。ここに書かれているのは、元にあったのは、当

時教会で歌われていた賛美歌で、それに手を加えたことばである考えられています。14節までは散文体で書かれています。15節から20節までは詩文になっています。そのため、フランススコ会訳は15節から20節までを詩として訳しています。新改訳はそのまま、新共同訳もそのままです。しかし聖書協会共同訳は詩として訳しています。内容は、御子キリストこそ万物の創造主であり、万物を維持され、その御子キリストが教会のかしらであり、万物との仲保者であるというメッセージです。

15節をご覧ください。へ御子は、見えない神のかたちであり、すべての造られたものより先に生まれた方です。とあります。聖書の啓示によれば、神は万物の始まる前から、すなわち時間と空間を始められる前から、父・子・聖霊としておられました。創世記1章1節に、へはじめに神が天と地を創造された。とありますが、ヨハネの福音書1章1節、3節にはへ初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。(略) すべてのものは、この方(↓人として生まれられる前のキリスト)によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもなかった。とあります。神はそのようなお方です。これを知るなら、コロサイ書1章15節より20節までのことばを、そのまま受け入れることができます。